

はやし 幹人 林もとひとと県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

商工労働常任委員会副委員長に就任

航空機事故対策で警鐘鳴らす

成田空港

成田市特集 6月県議会 予算委員会から



予算委員会で質問する林幹人県議

県政に新風をーと、成田より選出され県議会で活躍する林幹人(はやし・もとひと)県議は、一月県議会に続いて六月県議会でも予算委員会質疑に登場し①成田空港における航空機事故対策②農業の担い手確保対策③宿泊客誘致など観光振興ーの三点に絞って、実質的な議論を交わしました。

林議員 日本の空の表玄関である成田空港で起こったフェデックス機の事故に関して、県はどう考えるのか。消防地震防災課長 開港以来、三十年以上も大きな事故が一度もなかった成田空港で、三月二十三日に乗員二名の尊い人命が奪われるという初めての死亡事故が起きたことは、大変残念に思います。あらためて、事故対策について、平素からの備えの重要性を感じたところです。

林議員 今後、旅客機事故が発生した場合、被害が甚大になることが見込まれることから、どういった対策を考えているのか。消防地震防災課長 訓練の事故想定は、規模と参加人員及び出動緊急車両台数について、伺いたい。

林議員 訓練の事故想定は、規模と参加人員及び出動緊急車両等の台数は、消防車、救急車を含め、約三百五十台でした。林議員 事故の想定が甘すぎないか。B747ジャンボジェットなど五百人近い乗員乗客を乗せています。このような大型機で万一、フェデックスのような全損事故が発生したら果たして対応できるのか。起こり得る最悪の状況を想定して、対応できる体制を取っておかなければならないと思います。

消防地震防災課長 国及び成田国際空港株式会社のほか、県、市町村、消防、警察、医療機関などの関係機関が連携し、総力を挙げて消防活動、救出救護活動等の応急対策を実施することとしています。県では、災害規模に応じて、航空機事故応急対策本部、さらには災害対策本部を設置して、救出救護に係る人員の派遣、医薬品等の物資調達、他県からの救急消防援助隊の応援要請

千二百人規模で救助訓練

最悪の状況想定で訓練を！

県政に新風 市民の声を生かします

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ 〒286-0134 成田市東和田569 なるげや陶器ビル1階F号
TEL 0476-20-0884
FAX 0476-20-0885
Eメール: motohito884@gmail.com

林もとひと県議・プロフィール

○略 歴○	
昭和48年 9月	銚子市に生まれる
平成 4年 3月	銚子市立銚子高校卒業
平成 8年 3月	玉川大学文学部卒業
5月	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年 4月	空港グランドサービス入社
平成12年 4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年 4月	衆院議員・林幹雄秘書(成田市担当)
平成19年 4月	千葉県議会議員初当選

○現 職○	
●千葉県	商工労働常任委員会副委員長
●千葉県	国土利用計画地方審議会委員

新規参入者をモデル事業で支援

成田市特集

6月県議会

予算委員会から

新たな就農者は毎年2000名超

林議員 千葉県の販売農家数は、この十年間で約二万五千戸が減少しており、農業者の高齢化も進んでいます。一方で、最近の新聞やテレビなどの報道で、農業に対する新たな魅力や可能性がクローズアップされ、新規に農業に参入する若者や転職を希望する人が増えてきていると聞きます。県内における新規就農状況はどうか。

担い手支援課長 平成二十年度における新規就農者数は、県の調べでは二百五十六名となっています。内訳は農家後継者などの新規学卒就農者が五十三名、農家出身者で会社などを退職して就農した離職就農者が百四十五名、農業以外から新規参入者が五十八名となっています。新規就農者数は、平成十七年以降、毎年二百名を超える状況にあります。

林議員 新たに農業を始めるようとする方に対し、県はどのような支援をしているのか。

担い手支援課長 新規就農者の技術や農村習慣を習得するための研修③就農するための資金としては、県が認定した就農者に対する無利子の「就農支援資金」の貸付などを実施しています。

林議員 六月補正予算に計上された「農業の新規参入モデル構築事業」とはどのような内容か。

担い手支援課長 同事業は、県が農業法人等に委託して実施するもので、新規参入希望者を雇用し生産技術・経営ノウハウの習得、販路の確保等、数年後の独立就農に向けたサポートを行い、新規参入者がスムーズに就農・定着できる支援モデルを構築するものです。



ハウス栽培を視察する林県議

農者対策としては①県内十三カ所に設置した新規就農相談センターにおける相談業務②農業大学校における農業の体験学習や地域の指導的農業者への弟子入りして

また、本年度から新たに県下十地域に市町村、農業委員会、農協等を構成員とした「ちば新農業者サポート連携会議」を設置し、農

宿泊客は観光客の11%

林議員 前回は二月県議会では、観光振興一本に絞って予算委員会質疑を行いました。その後、森田知事が「千葉県のトップセーブルスマンになる」という力強い決意のもと、当選されました。今回は、社会実験とはいえ、東

林議員 六月補正予算に計上された「農業の新規参入モデル構築事業」とはどのような内容か。

担い手支援課長 同事業は、県が農業法人等に委託して実施するもので、新規参入希望者を雇用し生産技術・経営ノウハウの習得、販路の確保等、数年後の独立就農に向けたサポートを行い、新規参入者がスムーズに就農・定着できる支援モデルを構築するものです。

観光振興対策

林議員 宿泊客の増加に向け、どのような対策を考えているのか。

観光課長 宿泊客の経済効果は大きいことから、県としても、宿泊客増加の必要性は強く感じており、できるだけ多くの方々が本県を訪れていただくよう、全力を挙げて観光プロモーションに取り組んでいます。宿泊客を増やすためには、宿泊事業者や市町村など官民一体となって、地域が主体的に観光地としての魅力アップに努めることが必要だと考えています。県としても、本県が魅力的な観光地となるよう、地域と一緒に努力していきたいと考えています。

林議員 六月補正予算で宿泊客の増加につながるための事業はあるのか。

観光課長 六月補正では、トイレなどの観光施設の整備に助成する「観光地魅力アップ緊急整備事業」や、地域の観光を

担う人材を養成する「観光リーダー養成事業」を実施し、本県の魅力ある観光地づくりを推進してまいります。さらに、八月からは東京湾アクアラインの通行料金の社会実験は、平日についての値下げ効果が期待でき、来訪者と宿泊客の増加に向けた大きなチャンスになると考えています。

林議員 宿泊に特化した観光キャンペーンを実施すべきと思うが、どうか。

観光課長 今まで実施してきたキャンペーンでも、例えば、大山千枚田のライトアップや岩井での地引網など、宿泊客を呼び込むために朝や夜にポイントをつけたりイベントを開催したりしてきましたが、宿泊客増加のためには、地域の広域的な連携も必要になると考えています。

魅力アップには連携必要

林議員 前回は二月県議会では、観光振興一本に絞って予算委員会質疑を行いました。その後、森田知事が「千葉県のトップセーブルスマンになる」という力強い決意のもと、当選されました。今回は、社会実験とはいえ、東

林議員 六月補正予算に計上された「農業の新規参入モデル構築事業」とはどのような内容か。

担い手支援課長 同事業は、県が農業法人等に委託して実施するもので、新規参入希望者を雇用し生産技術・経営ノウハウの習得、販路の確保等、数年後の独立就農に向けたサポートを行い、新規参入者がスムーズに就農・定着できる支援モデルを構築するものです。

若さと情熱で
県政にチヤと
林もとひと
幹人
県議



林県議が出席した予算委員会の全景